

令和3年6月

南九州大学 環境園芸学部 環境園芸学科 園芸育種学研究室

【研究室概要】

本研究室では、「園芸作物新品種の育成のための研究」をおこなっています。

具体的には、「交配育種」を基本として、「薬培養などの組織培養」や「DNA マーカー育種」などの技術を用いて、新しい育種技術の開発・品種育成に取り組んでいます。

また、いろいろな遺伝資源を積極的に導入し、それらを利用した形質（例えば、病害虫抵抗性や果実色、果実形など）の評価、遺伝様式の解明、育種への利用などにも取り組んでいます。

【2020 年度卒論テーマ】

(トウガラシ・ピーマン類) *Capsicum* 属における *annuum* 種と *frutescens* 種の交配による種間交雑系統の作出、*Capsicum* 属における白絹病菌 (*Sclerotium rolfsii*) に対する抵抗性素材の探索、PMMoV 抵抗性分離集団を用いた抵抗性の分離と PCR マーカーの適用、カラーピーマン (*Capsicum annuum*) における薬培養由来倍加半数体系統の各種形質の評価と F₁ 系統の作出、DNA マーカー選抜による非辛味性トウガラシ系統の育成、カプシカム属遺伝資源を用いた新規青枯病抵抗性素材の探索、*Capsicum* 属におけるサツマイモネコブセンチュウ抵抗性遺伝子座の近傍に位置する DNA マーカー間組換え型系統の選抜

(ナス) ナスコアコレクションを用いた各種形質の評価と青枯病抵抗性素材の探索

【2021 年度卒論テーマ (未確定)】

(トウガラシ・ピーマン類) トウガラシ小種子性形質の評価と分離集団の育成、など

(ハマボウフウ) 宮崎県内におけるハマボウフウ (*Glehnia littoralis*) の自生地調査および効果的増殖手法の検討

(シャクナゲ) *Rhododendron arboreum* および *R. catawbiense* における体細胞由来再分化植物獲得手法の検討



● カラーピーマン新品種の育成



● 病害虫抵抗性台木用品種の育成

【その他】

フィールドセンター温室および露地圃場で新規 F₁ カラーピーマンや各種遺伝資源などの研究材料を栽培しています。楽しみながら研究室の実験・作業に取り組んでいます。